

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和元年12月12日（金） 開会中	12時59分 開会 14時35分 閉会
場 所	相良庁舎4階 第3会議室	
出席議員	（委員長） 2番 濱崎一輝 （副委員長） 3番 原口康之	
	6番 藤野 守 5番 平口朋彦	
	4番 吉田富士雄 1番 鈴木長馬	
欠席議員		
法第105条出席		
事 務 局	局長 植田 勝 書記 森田さおり 書記 北原大輔	
説明員		

署名 _____ 議会運営委員長

[午後 12時59分 開会]

開会の宣告

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは皆さん、時間になりましたので、ただいまより議会広報特別委員会を始めたいと思います。

2 事件 (1) 市議会ホームページのリニューアルについて

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

きょうは、市議会のホームページのリニューアルについてということで、話し合いをしていきたいと思います。

お手元に、皆さん、この資料、前回のものは持って来ていますかね。

まず、事務局のほうから。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

私のほうから、それでは市議会のホームページのリニューアルについてということで、少しご説明をさせていただきます。本日、資料を3枚配付させていただきました。まず、1枚目をごらんください。

前回、少し資料の中で、トップページにはわかりにくいといえますか、トップページが写っていないというようなこともありましたので、少し担当課のほうと協議をさせていただいて、1枚目につきましては、あくまで私の案になりますけれども、こういったトップページが可能だよというような内容でつくらせていただきました。

まず、1番上が写真ということで、こちらは前回配付したような議場の写真が入るかなというふうに思います。

2段目に新着情報が来まして、その下に各項目のボタンが来るような配置になります。

一番下に、録画配信ガジェットというのと、フェイスブックガジェットというような、二つをくっつけさせていただきました。ガジェットって、わかる方はわかると思うんですけど、ホームページ上に、実際の録画配信の映像のところが出ていたりとか、フェイスブックであれば、フェイスブックの記事が出ているようなものをガジェットと呼ぶんですけども、そういったものは業者のほうで出せるというようなお返事だったので、少しここに加えてみました。

左が、前回の委員会の中で、サイドメニューのような話もあったんですけども、サイドメニューにつきましては、基本的には入れなければならないと、どうしてもデザイン上入るといようなお話がありました。

サイドメニューの上側に、バナーといまして、宣伝みたいなどころによく使うんですけど、

バナー表示は可能だよというふうなお話でしたので、バナー表示で会議録の閲覧と議会だより、あと傍聴のご案内という3種類を少しバナーでどうかなというふうなことで考えております。

2枚目、3枚目につきましては、少し見比べながら見ていただくと少しわかりやすいかなと思いますので、少し見比べながら、2枚目、3枚目の説明をさせていただきます。

まず、現在のホームページのメニューというのは、ホームページをごらんになっていただいた方はわかるかと思うんですけど、こういったつくりになっています。大メニューといたしまして、市議会のあらまし、市議会議員、皆さんと市議会、本会議、意見書、決議、提言書、議会活動報告、映像配信、会議録、議会だより、フェイスブック、年間行事予定、災害発生時の活動、ご視察のご案内という、13項目の大メニューの中から、それぞれ下に小項目で幾つかあるというふうなつくりになっております。

これを、今度リニューアル後、少し変更を加えさせていただきました。リニューアル後につきましては、大メニューは9項目で考えております。議員情報、本会議情報、請願陳情、議会改革、議会活動報告、市議会のあらまし、年間行事予定、議長交際費、視察のご案内という9項目で考えております。

その下に、主な変更点ということで記載させていただきましたけれども、まず一つ目、皆さんと市議会、現在のホームページの中の③になりますけれども、皆さんと市議会を削除。削除という言い方がいいかわからないんですけど、その大メニューを削除しまして、皆さんと市議会の中にある三つの小メニューにつきましては、それぞれ割り振らせていただきました。

理由といたしましては、皆さんと市議会というふうな題名で、ぱっと市民の方が見ても、そこに何が入っているか、なかなかわかりづらいというふうなことを少し思いましたので、皆さんと市議会というふうな表題を削除ということで考えております。

続きまして、意見書、決議書、提言書ということで、こちらを削除いたしまして、それぞれの別のところの大メニューの中に組み込みをさせていただきました。

理由といたしましては、意見書、決議書、提言書ということで、こちらは字面で見れば、三者とも似たようなものになっているんですけども、内容的に言えば、重みという言い方がいいか、種別という言い方がいいかわからないんですけど、違います。意見書につきましては、議会の議決がほしい、決議書につきましても、議会の議決がほしいという中で、提言書につきましては、あくまでこちらは所管事務調査の中で市長に対して提出しているものでありますので、少し前者の二つとは種類が違うかなというふうな考えをしまして、その三つをそれぞれ別の大メニューの中に組み込みをさせていただきました。

次、災害発生時の活動要綱を削除ということでありますけれども、災害発生時の活動要綱につきましては、これは当初は策定段階で新たにつくりましたということで、大メニューで表示をしておりましたけれども、作成されまして、もう数年たつというのが一点と、あくまでこちらは議会内の内規でありまして、活動要綱につきましては、議員さんが災害時に行動をしていただくための内規的な取り扱いになりますので、直接的に市民が関係するようなものではないということ

から、災害発生時の活動要綱を削除させていただきました。

続きまして、議長交際費でございますけれども、現在のホームページでは、議長交際費は市議会議員という、2番目の大項目の中に含まれておりました。ただ、議長交際費の性質上、議員の情報というようなものでもなくて、どちらかといったら情報公開の部分に含まれるということから、議員紹介というようなところからは少し外させていただいて、それは新たに単独での大メニューということで考えております。

続きまして、議会改革を追加ということで、4番目に議会改革という項目を追加させていただきました。

こちらのほうに、昨今、議会改革ということで、牧之原市議会も取り組んでおるわけなんですけれども、それを特出しで一個メニューをつくりまして、これは主には、他市議会であるとか、市民の方も興味があれば見ていただければと思うんですけど、議会改革の分野を一つにすることで、より議会改革について、他に発信ができるかなと考えまして、こちらは大メニューとして、議会改革ということで、そちらに、今までは市議会のあらましの中にあつた基本条例であつたりとか、議会改革の経緯や主な取り組みなんかを集約させていただきました。

先ほどの中にあつた提言書というのも、そこに少し加えさせていただいております。

それと、現在のホームページでは、会議録の閲覧と市議会だよりと傍聴のご案内のほうは、それぞれ大項目にあつたりだとか、小メニューにあつたりとかするわけなんですけれども、先ほどトップページの説明のときにさせていただいたとおり、バナーでトップに表示を考えておりますので、大メニューからは少し外させていただいております。

理由といたしましては、市議会全体に関すること、会議録の閲覧に関しましても、市議会だよりにつきましても、傍聴のご案内につきましても、全体全てにかかわってくることであつて、特にこの部分が一番情報発信したい部分ではありますので、バナー表示というふうを考えております。

それと、録画配信とフェイスブックはガジェット表示ということで、大項目からは削除しているというような内容に、リニューアルを今、事務局案ですけれども、考えております。

もし、何かご意見等あれば、頂戴したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

説明ありがとうございます。

今、事務局のほうから説明がございましたけれども、今聞いた中で、不明な点だとか、今、トップページからいろいろと説明をしてくれましたけれども、この部分をちょっと差しかえたほうがいいんじゃないかとかいうご意見などがあれば、お願いいたします。

平口委員。

○（平口朋彦君）

まず、ちょっと一つ確認したいのが、このバナー表示、かけはし、サイドメニューというのが、

レスポンスなんちゃらで、スマホで見るときは、これが消えちゃうよね。メニュー画面を出さないと消えちゃうという認識でいいのかなと。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

そこは確認をさせてください。ただ、全く消えるということはないと思います。何かしらの形では残るようにはなると思うんですけど、こういった格好で残るかというのは、少し確認不足でありますので、確認させてください。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

そこを確認しておいてください。かけはしとか、会議録検索システムとか、言ってみれば、割とアクセスが多いところになると思うんですね。でも、パソコンだと、逆に言うとこのボタンよりも、サイドメニューでバナーにすると、逆に目立つと思う。ただ、スマホからアクセスすると、これが、こっちのボタンのほうが主になって、サイドメニューが10になるので、ワンアクション必要な、メニューのところに出てきちゃうと思うんですね。それだと、ちょっとそれはどうかなと思うのが、まず一点。それは確認してもらって。

あと一つ、事務局のほうで作成していただいた、市議会ガイドブックも、できればバナーで。そののところに、子供向けじゃないけれども、中学生向けなら中学生向けみたいな感じで、吹き出しでもつくって、バナーにしてもらおうと、子供でも牧之原市議会のことを理解してもらえようなバナーになると思うので、それを入れるといいかなと思います。

あと、録画配信のガジェット、ユーチューブ、これって開くたびに最新のトップバッターが写るじゃなくて、最新の7人なら7人を順繰りに回せるのかどうか、それをちょっと、技術的に可能だとは思うんだけど、それをやってもらえるかどうか。

あと、議長交際費がトップページのボタンになくていいんじゃないかなと思うので、その辺はどうかなと思いました。

今のところ、それぐらいですかね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

私も議長交際費は、ここはいらなかなと思いました。

トップのボタンにはいらなかなと。このところ、一番目立つところなのでね。メニューの中には入っていますけどね。

ほか、ご意見ありますか。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

今、平口委員のほうからご意見いただいた件につきまして、バナー表示につきましては、確認

をさせていただきます。

キッズページ等の市議会ガイドですね、そちらのバナー表示につきましても、それはできることですので、そんなような形で表示をしたいと思います。ガジェットの質問者の順番に表示ということにつきましても、恐らくそれも技術的に可能かなというふうに思いますので、業者のほうにも要望したいというふうに思います。

議長交際費につきましても、今トップになくてもということですので、サイドメニューのほうでは表示させてもらうことにさせてもらって、トップからは外させていただくと、皆さんがそれでよければ、それは可能ですので、お願いします。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

私のほうから。今、平口委員からも話がありましたけれども、市議会の仕組みのものを、北原事務局がつくってくれましたけれども、こっち側のメニューの中である議会の仕事というのが、それに当たる。それとはまた違う。メニューの6番か。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

これ、実は今現在のメニューのほうの市議会の仕組みと。1番の市議会のあらましの中に、市議会の仕組みという小メニューがあるんですけども、実は今ある市議会の仕組みの中に、ここにある市議会の役割、組織、運営、仕事という、この四つの項目が今、実は含まれております。ただ、前回の委員会の中で、余り文字ばかりだと閲覧をする方もなかなか見る気がしないというようなご指摘だったりとか、もっと絵とかそういうものも入れたほうが良いというようなご指摘いただきましたので、それを今回四つに分割して、逆に一つ一つをもう少し情報を充実させようかなというふうなことを考えておりますので、市議会の仕事がキッズページということには、直接つながらないんですけど。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

別のページということだね。

○事務局書記（北原大輔君）

そうですね。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

だったら、この市議会の仕組みというのを、トップのところのボタンのところに持ってきてもいいかなと思ったんですけど。

平口委員。

○（平口朋彦君）

議員報酬は、これはどこから見ます。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

今は市議会議員の中に議員報酬という項目をつけさせてもらっているんですけど、リニューアル後の案の考えといたしましては、議員紹介かどこかの一番下段とかに表記をしようと考えております。ただ、正直、議員紹介にそぐうかどうかというのも少し疑問に感じるものですから、今までどおり、別途、こういった小項目にしたほうが良いというような意見であるならば、それは小出しで出して小メニューにすることも可能です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

議員紹介の中に議員報酬、ちょっとなじまないような気がして、議員報酬を知りたいというときに、一つでいけないじゃんね。ちょっとやっぱり、それは前のような形を踏襲したほうが良いかなというふうに思うんですが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

そうしましたら、6番の市議会の仕組みと申しますか、その中の例えば説明、今四つありますけど、その中に議員報酬という小メニューをもう一つ追加して、そこで今ある議員報酬のページを移管するというようなことが、今これを見る限りでは、少し僕の中ではいいかなというふうに思いますけどね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

市民の皆さん、それぞれお知り合いの議員さんにいろいろ、市政のことを言ったりとか、いろいろされていると思うんですけど、意外と、存外議員報酬もそうですし、議員が何人いるかも知らないというのが、意外と多いんですよ。なので、その部分は、割とすぐアクセスできるようなところにおいておいたほうが良いのかなと。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

項目としては、単独で用意するにしても、その分類のところかどうかということですか。分類のところ、①のほうが良いかなということですかね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

そぐうか、そぐわかないか、いやらしいかもしれないですけど、ボタンに、議員報酬・定数というボタンがあってもいいぐらいだと思います。もう、そのボタンを押せば、議員報酬と定数が

すぐ出てくるって。たった、それだけのためにと思うかもしれないですけど、逆に言うと、今、議会改革特別委員会でも、報酬と定数というのはやっているわけです。定数維持、報酬はこれからという話になっているわけじゃないですか。どうしたって、市民皆さんが一番興味あるのって、そこなんですよね。なので、もうこのトップページの大ボタンに置くほどのものかって思ってしまうかもしれないですけど、置いてもいいかなと。逆に、それぐらい思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

何かありますか。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

トップにもし、置くとするならば、一番、本当は①、②に来るようなものではないかというふうに思いますので、この市議会の仕組みの後ぐらいに、一つトップで置くことも考えられるんですけど、市議会がどうこうというお話でもないんですけど、うちうちのホームページのやり方があるんですけども、正直、他市議会でそこまで議員報酬等が大々的に載っているというような事例というのは、正直余りないものですから、もしよければ、市議会の仕組みの中の一つの中で、牧之原市議会のことを紹介していく中で、議員報酬は27万円ですみたいなものを、一つ特出しで出せられればいいかなというふうには考えますけれども。

それでも、もし大メニューというのであれば、別に大メニューに出すことは可能ですから。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

例えば、それがそぐうかどうかわからないんですけど、その大メニューに議員報酬、定数とボンと入れておいて、そこを掘れば議長交際費も入るとかね。大メニューとちょっと違うのかもしれないですけど、結局税金の使途なので議長交際費も入る。その大メニューの中に、そこを押して、すると、静岡県のほかの市町の定数と報酬を出せるものかどうかわからないけど、どこかのページから引っ張ってこられれば、多分市議会議長会かどこかの情報であると思うんですよね。そのページのものを、よりというふうにすれば、ここに載せられるわけじゃないですか。そうすると、他市町との比較もできて、うちはやっぱり安いんだねというふうにも見えるので、そういうふうな情報が集積するボタンにすれば、いいかなと思ったりもするんですけど、これは私だけのあれじゃない。ただの一意見です。皆さんで諮ってもらえれば。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

他市の議会によくあるのは、情報開示というような大項目にして、議長交際費と政務活動費の使途とか、使用状況というのを二つ小メニューにして載せているというような市議会が、正直ほとんど多いです。それは情報開示というくくりの中で議長交際費と政務活動費というようなこと

で小メニューにしているわけなんですけれども、今回、うちの場合は政務活動費がないものから、議長交際費のみでの大メニューというふうになったんですけど、今お話の中で、議長交際費と同じ大メニューの中でもいいということであれば、例えばさっき、私が申したように、情報開示というような項目にしてもいいですし、ほかの名称でもいいんですけれども、二つを同じくくりの中で公開しても、それはそれでありかなというふうなことは思いますけどね。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

今の点で、関連するご意見とかありますか。

平口委員。

○（平口朋彦君）

それだったら、これは一案ですよ。議員情報のところの情報と、本会議情報の情報って、両方も情報を抜いてしまっていいじゃないかと。ボタンでね。議員は議員というボタンにしちゃう。へと思うかもしれないけど。

本会議も、本会議というボタンにしちゃうと。でも、何となくわかるじゃないですか。本会議といえば本会議の情報なんだろうなと。議員といえば、議員の情報なんだろうなと。その上で、別に情報開示というボタンがあるならいいんだけど、情報というボタンが三つもあると、一体、議員報酬の情報ってどこにあるんだって。議員紹介かも議員情報かもしれないなと思ってしまう。というのはどうかなと、今思ってる。そういうふうな形にするのであれば、情報開示というボタンがあってもいいのかなと。迷わないのかなとは思いますがね。

そうなるのと、逆に本会議以外のものもほしくない。ボタン。委員会、全員協議会。委員会と協議会。委員会と協議会の議事録って、このバナーしか掘れない。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

大メニューとかで会議録を、バナーでももってきて、大メニューでも持ってくるということですかね。それば別にできると思いますけど。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

本会議だけじゃないもんね。大事な協議をしているのは。なので、委員会とか全員協議会の議事録を、わざわざプリントアウトして読んでくださっている区長さんがいたんですよ。議会報告会で。どうせだったら、配布してくれまで言ってくださった区長さんがいたぐらいなので本会議というボタンがあるんだったら、委員会、あと協議会というボタンもあったほうがいいのかな。その他会議ということですね。

○事務局書記（北原大輔君）

会議のところにある小メニューで。

○（平口朋彦君）

もう、議事録。

○事務局書記（北原大輔君）

会議録の閲覧とは別に、ダブルで載せる。

○（平口朋彦君）

だから、この間のホームページの説明をしてくださったときにも言っていたんですけど、今のあれって、いろいろな入り口から入ってくるというふうに言っていましたね。なので、逆に言うと、入り口は幾つあってもいいのかなと。それで、委員会とか協議会とか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

おっしゃるとおり、入り口が幾つあってもいいかなと思う反面、逆にぱっと見た人が、どっちかなと思うことも一つ危惧されるかなと思います。

今の案で考えているのは、まずは会議録というところを押していただければ、その中に本会議の会議録があったり、委員会の会議録があったり、委員会の会議録があったり、全員協議会の会議録があったりということで、入り口は一つにして、その中で間口を広げて、その中に幾つか項目があるというような、作り方をしていますので、少しわかりにくいという言い方がいいかわからないんですけど、両方載っていると行ってしまえばそれまでなんですけれども、ぱっとトップを見たときに、まずぱっと目を見て、会議録だったらここ、本会議の内容だったらここということを、少し意識をしてトップの案ということで示させていただきました。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

じゃあ、こっちのバナー表示の会議録閲覧のところというのは、会議録閲覧システムに飛んでしまうだけではなくて、過去の議事録も、ここをクリックすると過去の議事録もピンポイントで検索システム抜きでクリックできるようなページがあるということですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

おっしゃるとおりで、ここをクリックしていただくと、今のホームページをまた見ていただければわかるんですけど、会議録検索システムという項目が一つある。会議録検索システムが網羅していない、例えば特別委員会のものとか、全員協議会のものとかというのは、別の項目として、それは会議録検索システムではないんですけど、PDFの形として載せられているページが出るというようなページを想定しています。すみません、説明不足で。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

他市のホームページでいうと、例えば委員会ごとにバナーというかボタンがあって、会議録とは別に、何か記事とか写真とかが載っているような感じになっているんですか。どんな感じなんですか。

例えば、今、会議録だけだったら委員会ごとに分けても余り意味がないかなというふうに思ったものですからね、その辺ところどうかなというのが、すごく感じました。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

正直、本会議は一つ特出しで出ているというところが多いというか、本会議が一番大きい大メニューとしてあるんですけれども、委員会として載せられているとすれば、委員会活動というようにくくりで載せてあって、例えばそこで委員会の所管事務調査での報告をしたりだとか、それこそ委員会の視察の報告をしたりだとか、あとは委員会での提言の内容を報告したりというような、そういったくくりの中で委員会活動というくくりで大メニューにしているところはあるんですけれども、なのでそこをどういう項目で申をさすかという、うちの場合は、例えば提言書に関しては、議会改革に先ほど入れさせてもらったりだとか、視察は議会活動報告の中で行政視察報告というのを入れたりだとかというくくりをしているので、くくりの違いにはなってくるんですけれども、そういった、逆にそういった市に関しては、こういう議会活動報告という題名にはなかったりとかいうこともあるので、そういったくりにするのがわかりやすいかというような話になるんですけれども、そういった違いは他市とあります。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

では、議会活動報告のところの議会を抜けばいいということ。それで、活動報告にしちゃって、その下に議会全体での活動報告もあって、委員会ごとの活動報告もあるって、またボタンがあらわれてくればいいということ。逆に、議会全体の活動と総務建設委員会、文教厚生委員会というボタンが出てくれば、いいのかなと思ったりするので。そうすれば、もっとこれ、言うとは絶対皆さん嫌がると思うんですけれども、視察報告書を載せるページもあったほうがいいと思うんですよ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それは行政視察報告。

○（平口朋彦君）

これって、こっち側が受け入れる話じゃなくて。

○事務局書記（北原大輔君）

違います。受け入れるほうは、旧の受け入れ実績というほうに載せて。

○（平口朋彦君）

受け入れたというのを報告するのかなと思って。こっち側が視察。だったら、皆さんが提出したものが、今度からはホームページ上で見られるということ。今見れていたっけ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

補足をさせていただきます。今の5番目の議会活動報告というところのページかと思うんですけど、この中にある、市民会議というのは委員会で行った市民会議を報告書みたいな形でまとめて載せてあるページになります。行政視察報告というのは、先ほどお話させてもらったとおり、委員会で行った行政視察の報告書なんかを、それは委員会だけではなくて、例えば全員協議会とか、友好姉妹都市に行った報告書なんかを含めて、とにかく視察という名目でいったものについては、載せております。

これは、載せているといっても、代表として載せてある、メインは委員長の報告書をモチーフの載せてあるんですけども、例えば8人の委員さん全員の報告書が載せてあるわけではなく、委員長ものを少し修正といいますか、文言等を修正して載せてあるものになります。

議員研修会というのは全議員で行っている研修会の報告といいますか、を載せて、月別議会の活動報告というのは、議会全体の活動、それは議長もほかの議員さんたちも、組合議会の活動も全て含めて1カ月間、こういった活動をしていますよということを報告として載せているものになります。

なので、今の現状だと、この5番の議会活動報告という大メニューの中には、委員会活動もあったりだとか、全議員での活動があったりだとか、いろいろなものが含まれて議会活動報告というようなくくりでまとめさせてもらっているというような現状になります。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局長。

○事務局長（植田 勝君）

②のところの、本会議情報。これ、他市もこういう本会議情報という言い方をしているのかな。本会議というと、あくまでも定例会の中の5日間だけをさすのであって、初日、2日目、一般質問、最終日が本会議であって、これって定例会とか臨時会という言い方のほうがいいのかなどという、ちょっとそこが一点。あとそれと、今議会がやっている政策であるとか、ICTの関係であるとかいうのは、議会改革の主な取り組みというところを開かないと出てこないのか、あとそれと、市議会の例規というのが、この中では出てこないと思うんだけど、そういったものが必要ではないかということちょっと思ったので、その辺を教えてください。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

他市の事例として、本会議というくくりかどうかというお話なんですけど、それは本会議とい

うくくりが多いです。ただ、その中で、例えばうちでいうところの本会議日程という中に定例会があったり、臨時会があったりしているところがあったりだとか、逆に言えば、一般質問なんかは臨時会はありませんので、一般質問のところには臨時会の情報は載っていなかったりだとかという、小メニューの中で定例会と臨時会を分けているというのが、多いです。

わからないんですけど、余り市民からすると、定例会、臨時会というくくりというのが、なかなかわかりづらいところがあるかなということで、本会議という大きなくくりの中で分けているんじゃないのかなということで、自分なりには解釈しています。

それと、議会改革の関係のものは、正直現状、今政策立案の取り組みだったりとかいうのが載っていませんので、今でいうと、この議会改革の主な取り組みという中に、例えばこの前の議員の減額条例なんかはこの中に載っています。今は載っています。

あと、例規に関しても、今は載っていませんので、どういう方法で載せるかというのがあるんですけど、市のほうの例規というのはホームページから飛べて、例規の例規集の中に議会の例規というのものもあるものですから、そこでそっちにリンクを張るのか、議会だけの例規で、特出しでページをつくるのかというのは、一つ選択できるかなというふうに思います。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

例規というか、申し合わせは載せられないにしても、条例、規則、規程、要綱は見られるようにしておいたほうがいいかもしれないですね。

あと、局長が言っていた本会議というのは、言われればそうだなと思ったけど、恐らく広義の意味での、本会議場でやっているということで捉えてよそもしているのかなと思いました。

あと、ちょっと巻き戻しになってしまって申しわけないですけど、行政視察報告のもの、私が思っている公開したいのは、それぞれ皆さんが個人で出しているもの、ペーパーで出している。あれ、ぶっちゃけいやらしい話ですけど、一人10万から使って行っているわけですよ。一人10万から使って行っていて、おまえら視察といっても遊びじゃないかみたいな、言われなくてもそういう思いで皆さん見ているわけですよ。我々の委員会視察を。

でも、学べきものがあるから行くんだと言って行って、10万使って、10万こっきりじゃないですけどね。10万近く使って行っている以上、情報公開コーナーに来てくれれば見られますじゃなくて、やっぱりホームページでガンガン公開していくべきだと、私は思う。ただ、嫌がる人も多いただろうなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

おっしゃるとおりだと思います。情報公開コーナーには全議員の報告書というのはつづつあ

りますので、当然ホームページのほうにも、それと同じものが掲載してあっても、当然それはいいものでありますので、事務局としては、議員の皆さんさえよければ、全議員、それぞれの報告書を公開するべきであると思います。

ただ、過去の経緯がわからないものですから、ちょっとあれなんですけど、昔から、代表者という言い方がいいかわからないんですけれども、一つのものとして載せてあったという経緯から、今もその流れできているというだけでありますので、ぜひそこは情報公開という意味でも、全議員の、それぞれの報告書を載せるようにというのを、それこそ広報委員会として提案していけばいいのかなというふうに、このリニューアルにあわせて、いいかなと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

今のご意見で賛成なんですけれども、それでは、この議会活動報告は5番目で、ちょっと後ろのほうにあるんだけど、これ、市民が一番関心あるところだと思うんですよ。そうすると、もう少し前のほうへ行って、今、議員はこういうことをやっているんだということを訴えるような画面構成に、最初の子この、そういうふうにしたらどうかなと思うんですよ。

全部ある報告書なんかは、今のご意見はいいと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

先にいいですか、私のほうから。

他市町の、今言った行政視察報告というのは、全議員、載っているんですか。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

正直、それぞれの議会でまちまちです。全議員のものが載っているのもあれば、委員長のものが載っているのもあれば、逆に言えば概要しか載っていないものもあれば、それはそれぞれの市町次第だと思います。

正直、報告書ですので、議員さんさえよければ、それは公開するべきだと思いますけれども、やはり昔からのなごりといいますか、というのものあるのかなと思いますけれども。

○（鈴木長馬君）

委員会で行く視察なんかの場合だと、全員が行けば全員載るんだけど、委員会ごとだと、行っていない人は要するに書けないわけですよ。そうした場合に、何でこの人は報告してないじゃないかって、そういうふうな懸念があると思うんですけど、どうですか。

○（平口朋彦君）

休んだ人ということ。別の委員会の人。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

当然、報告書を載せる場合につきましては、例えば総務建設委員会の視察報告です。そういう文言かどうか分からないですけど、総務建設委員会の視察報告、文教厚生委員会の視察報告ということで載せますので、その前を見てもらえれば、委員会構成という項目もあるんですけど、当然総務委員会に構成されている方の報告書があって、文教厚生委員会に構成している委員さんの報告書があってというふうになるものですから。

もちろん、例えば報告書だけ載せてもちょっとあれなので、その前段階では、例えばどこどこに、何県の何市に行って、こういったことを調査してきましたということは、その前段階で載せた上で議員さん、それぞれの報告書というのを載せさせていただく予定であります。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

恐らく、前文とかあって、それで参加した議員の名前があってという状況の中で個々を載せるという感じになるかと思うんですけどね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

これは、絶対皆さんに反対されるのを承知で、私の思いという、アイデアだけで、もう反対したださって結構なんですけど、私はむしろ、今のところからも視察報告書が見られる。議員ボタンの議員紹介がありますよね。議員紹介には、恐らく顔写真と自分の所属の委員会も出ていると思うんですよ。そこの下に、今までその人が出した、提出した視察報告書のボタンがあって、さらにその下に、直近、その人がやった一般質問のユーチューブの窓があってほしいぐらいなんですよ。

そうすれば、逆に言うと、自分がピンポイントで入り口は幾らでもあってもいいと思います。恐らく、有権者にすれば、自分が入れた人はどういう活動をしているんだというのを見たいと思う。ざっくり議会に興味があるんじゃないくて、この議員に興味があるという場合もあると思うんですよね。そうしたら、その議員のところを見て、その議員の活動だけ見られればいいやと思う人にすれば、一般質問とか、委員会視察の報告書とか、そういうものが見られるようになっていたほうが、ユーザーフレンドリーだなどは思うんですけど、恐らく皆さん嫌がるんだろうって。アイデアとして。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

その場合に、一般質問なんかの場合だと、質問した全部分を載せるようになるわけだね。その辺、どうですかね。議事録を全文そこのところへ載せるということで、そういう解釈でいいですかね。

○（平口朋彦君）

私は、小窓にユーチューブのガジェットが入って、そのガジェットで見られるように。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そうした場合に、見出しだけじゃなくて、会議録の全文がそこへ載るかどうかって。

○（平口朋彦君）

全文がね。それは、リンクを張るような形で。それは、全文が見られるページに飛ぶリンクを張ったりというのは、幾らでも技術的には可能だと思います。それもいいアイデアだと思います。

ただ、そもそもそこまですると、議員同士の、これはボタンを消したいんですけどね、議員同士の活動の質、活動の量が一目瞭然でわかっちゃうんですよ。それを皆さんがよしとするかどうかというだけです。ただそれだけです。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ちなみに、それは全協とかで確認したほうがいいですか。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

広報委員会として確認するというよりは、きょう、いろいろとご意見いただいたんですけども、いただいた内容を、またホームページのリニューアルの新しいメニュー案を変更して、このリニューアルのホームページとして、皆さん全員協議会で、皆さんに報告はさせていただく。それは、当然市議会のホームページになりますので、報告をさせていただく予定ではあります。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それは全部決まった段階でということ。

○事務局書記（北原大輔君）

そうですね。

なので、今回はあくまでもホームページのリニューアルということで、少しお話をさせていただいたんですけども、今、平口委員がおっしゃるように、そういったところまで変えていくとなると、根本的に載せ方を変えていくというようなお話になってくるので、そうなると、やはり全議員に、さっきの視察報告書を全員分載せるべきというお話も、それもそうなんですけど、そちらにつきましても、全議員にちゃんと協議をして、了承を得た中でオーケーなら変えていくという段取りを踏まないと、少しあれかなというふうには思いますけど、このホームページのリニューアルの骨子といいますか、骨組みの部分については、ある程度、広報が所管になりますので、ここでたたいてもらって案を作成したいというようなことですね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そうすると、技術的な話になると思うんですけども、例えば今は委員長だけなんですけれども、全員載せるとなったら、それは全員分はできる状態になるんですかね。

○事務局書記（北原大輔君）

それは載せられますね。簡単に。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

原口委員。

○（原口康之君）

今の行政報告の部分に関しては、各個人の感想というか、あれを載せるということには、あれ

なんですけど、一般質問のものに関しては、これはビデオというか、きちんと流れるんですよ。その中において、やっぱりうまく言葉の表現とかが、ビデオの感覚と言葉の感覚と違う部分も出てくるというのを、そういうことも可能性としてあるというのを残すと、やっぱりそこを当然文章で出すというのは、どうかなと。

そこはやっぱり、一般質問の、この生の配信のあれを見て、それだけ興味がある人であったら、その議員のあれを見るという部分で、そこだけで、そのくらいでやっぱりとどめたほうがいいかなと、僕は考えます。

○（平口朋彦君）

動画を載せれば良いという。

○（原口康之君）

動画はもちろん、これは載るという方向でいいですよ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

正直、ほかの市議会のホームページなんかを見ても、先ほど平口委員のほうから提案があったような載せ方をしている市議会はありません。ただ、それは別に、やってはだめとか、やってもいいよとか、そういう話ではなくて、少しその背景にあるというのは、当然一般質問等を個人が行うものでありますので、もちろん個人、個々の成果というか、個々の活動の中に入ってくるものはものなんですけれども、一方で、一般質問自体が、議会の一般質問でありまして、あれって、もしその個人だけが、個人のためにやっている一般質問であれば、その他15人の議員さんたちは、別に、正直、聞かなくてもいいよというふうになってしまうんですけれども、それを15人の議員さんたちも聞いているのは、やっぱりあの一般質問というのは、市議会の一般質問というふうに捉えて、だから一般質問というのは、そういったふうな趣旨が含まれているものであります。

ですので、他市なんかは、そういった一般質問で課題を抽出して委員会で取り上げたりとか、そういった事例もあるんですけれども、うちのほうはそういった事例というか、そういったやり方というのは、なかなかしてはないんですけど、多分そういった背景もある中で、やはりどうしても議員さん紹介の中で載せてしまうと、平口委員、ご本人さんも言ったんですけど、どうしても個々のものというふうに捉えられてしまうという側面が、どうしてもやっぱり強くなってしまふものですから、やっぱりそういったものに関しては、個々でやっている、例えばSNS等で会議録を載せたりとか、録画配信で自分の部分を載せてもらったりとか、少しお知らせしてもらおうほうが、あくまでホームページですから、公平性を保つという観点の中でも、そういったところで、事務局としてはお願いをしたいかなと。

もちろん、全議員がそれはやるべきだというのがあればいいんですけど、現にちょっと今、意見が分かれている中において、少しそれは難しいというか、やりにくい部分かなというふうには今感じていますね。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

そういうご指摘も十分あろうかなと。それは事務局からじゃなくて、ほかの議員からも多分そういう指摘はあるんじゃないかなと思って、私はあえて反対されるのを覚悟で言ったんですけど、もう考え方一つだと思うんです。一般質問をどう捉えるか。本質的にどう捉えるかという話ですよ。私これ、提案させてもらう冒頭に言ったのは、有権者にとってみれば、牧之原市議会全体で見る切り口よりも、自分が票を投じた議員の活動を見たいという切り口で見る人が多いので、有権者からすれば、そういうふうに一カ所でアクセスできたほうが便利だよという提案ですよ。

でも、いやいや、一般質問って、今、事務局の方がおっしゃったように、そこで通告をして議長が許可をして、している以上、それは市議会全体のものだよという考え方から見ると、個人のところにぼんと窓口が集中するのはまずいというのも、本質的にはそうだと思います。

それはもう、皆さんがどう考えるかだと思いますね。

いきなり全協に諮ったって、なかなか議論が進まないと思うので、広報はそれについて、イエスかノーかというところを決めて、向こうで諮ればいいのか。さっきの視察報告もそうですけど。広報で嫌だよという人がいるんだったら、もう全協に諮る必要もないだろうし。

そんな感じです。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝君）

ここまでの意見でいくと、扱わないということになると思うんですけども、どうでしょうか。個別に、今言った、一般質問のユーチューブなり、議事録なりを、あと行政報告書も含めて、個人のページに張って全部見られるという形でやる方がいいのか、それをやるのか、今までどおりにしておいた方がいいよというのを、これはちょっとまとめた方がいいですか。

どうですかね、今のご意見で、ほかの方は。

吉田委員。

○（吉田富士雄君）

こっちから言います。聞いていた中で、今いう、一般質問の話の中で、私とちょっと特別かもしれないけど、議員になってから、一般質問をやるのが議員の活動の全てではないと思っているし、やれば全員が強制的にやればいいことであって、そういうふう決めて、あるところで視察研修に行ったら、この前に広報で行ったところでは、ほとんどの議員が一般質問をやるということでありました。

そういうことで、やる、やらないは別にして、その内容、やればいいじゃなくて、今言うように、市民のためになるのか、行政の誤りを正すのか、やり方によってはいろいろあるものだから、考え方、全協もそうなんです、市長報告の中で質問したりします。市長の方向性で。市長が全協で今の施政を抱負する中で、また質問を求めたとき、それについて質問したり皆するもの

だから、そういうものを合わせて、全てが一般質問じゃなくて、そういう中で、自分もそういう中で市長に言ったことや、皆が言ったことも、言いとがめるところは議事録をとって、忘れちゃうものだから、今言うように、ホームページで今度ちゃんとなっていると見られるんですが、文章でもらうのとはまた別だし、そういうことで、いろいろあるので、そのところの取り決めというのを、自分なりには皆に諮ることで反対はしないんですが、私の考え方は、そういう考えで、私は議員になってそう思っています。

皆がどう思うかわからんけど、自分の考え方で、それは。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

載せてもいいですか。

○（吉田富士雄君）

載せてもどっちでもいいです、それは。

今言うように、この前の広報委員会で言ったように、全ての議員が一般質問をやりなさいよと言ったら、そういうことで三日間も取ってあるんですが、日にちが。やればいいことであって、そういう、そこら辺からもまた議論したほうがいいじゃないかなと、自分は思います。

以上です。

ちょっと話の向きが違うかもしれないけど。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

載せるにしても、一般質問のユーチューブだけいいのか、逆に視察報告だけでよいとか、両方という、いろいろあると思うんですけどもね。

藤野委員。

○（藤野 守君）

今だって動画出ているよね。ユーチューブに。それと、議事録も見られると。その体制ができているので、それはどちらでも私は構わないんですけど。それと、行政視察報告、視察報告、こういうのはやっぱり、全員のもを載せる、個別に個人別に。そういうことはやっていきたいと。

それと、ここは文章だよ。発言のほうは動画だよ。それと、議事録も全部見られると。その体制が整っていれば、どういう形であっても構わないです。どちらでもいいです。

入り口の問題はあったけど。いろいろなところから入ってくるという問題はあったけど。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

原口委員。

○（原口康之君）

議会というのは、もう市民のためにあるものであって、公平性という部分が一番大事なかなと思いますので、先ほど言ったみたいに、行政視察の件に関しては、そういうものに関しては載せたほうが、僕もいいと思うし、一般質問は先ほど言ったとおりで、動画で出ているので、そこまでする必要はあるのかなと思います。

広報、宣伝、自分を宣伝するのではないということを考えると、やっぱり、それを見てもらっ

て市民がどう考えるかというのが、僕は議会を見せるという中では大切かなと思うので、その辺は市民が感じたりする部分を、その意見を寄せてもらうというのは大事だけど、自分が広報で全面に個人が出るようなやり方というのは、僕はちょっとどうかなと考えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

視察報告は載せてもいい。

○（原口康之君）

視察報告は、これはもう全員が、委員会は違っても全員が出せるものだし、そういうものに関しては、個人がどうのこうのということではないので。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

そうなると思って言っているのですが、では、皆さんの意見もお聞きしながら、自分が提案したの
で何なんですけど、視察報告に関しては、全員分を全文、活動報告のほうで見られるようにして、
議員というボタンのほうからは、視察報告も動画も見られないような形でいいんじゃないですか。

原口委員がおっしゃっているのが、本質はそうなんですよ。議員の個々のPRの場所じゃない
ので。ただ、一方で私がこれを提案させてもらったのは、私は一般質問はもっと活発に行われる
べきだと。そこが、市民皆さんに一般質問の大切さとか、もっと言うと、一般質問が活発に行わ
れていないということが、ありありと見られる形にしたほうがいいんじゃないかという、ちょっ
と一定の意図があつての提案なので、これは。それぐらい、攻めたページでもいいかなと思って
提案させてもらったんですが、皆さんの意見の中でそういうふうなご意見が出るのであれば、本
質的なところをとっていいんじゃないかなと。

ただ、視察報告に関しては、これはここでぜひとも議会広報特別委員会の中で、6人が6人コ
ンセンサスをとって、全員分を載せていきたいですというふうなことで、全協で諮ってほしいな
とは思っています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

鈴木委員。

○（鈴木長馬君）

視察報告は全員報告しているものですから、それを載せる、載せないだけですから、載せても、
皆さんに、こういうことをやっているよということを知ってもらうためにはいいと思います。

一般質問に関しては、先ほど全文と言ったんですけど、例えば、通告した題目だけでも載せれ
ば、何というか、この人はこういう感じのやっているとこの人もわかるので、それもありか
なとは思ってはおります。全文じゃなくて、見出しだけでもね。こういう項目で質問したよとい
う、それだけでも私はいいと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

私も、私もというか、視察報告と一般質問のどちらも載せてもいいと思うんですけど、一般質

間に関してはユーチューブですか、トップに上がってくるので、そこからできるものですかね、ここはやらなくてもいいかなと思います。

視察報告に関しては、今皆さんおっしゃるように、全員行って書いていることなので、それは別に載せてもいいのかなと思うことなので、ここに関しては、全協に諮っていく形になると思うので、さっき言ったように、後で、今までの経緯もあって時間がかかる話になってくるので、後日確認させてもらった段階で全員分載せるとか、全然オーケーだということで、そんな形でいいですかね。

平口委員。

○（平口朋彦君）

視察報告書、皆さんが提出しているのを、自分が行っていない委員会の視察も気になるので、実は見させてもらっているんですよ。そうすると、様式がやっぱり違うんですよ、それぞれ。今配られている様式ってあるんですけど、罫線が入っていて使いにくかったりするんで、この際、もし皆さんの同意が得られて、これからは全員分を、16人分で絶対載せますよという話になるんだったら、いっぺん、視察報告書の様式もきっちりそろえて、無地の、名前とタイトルだけで、あとは全部無地のほうが使いやすいんだったら、皆さん最近はこの写真を入れたりもしているので、入れている報告書もあるので、無地だったら無地でいいし、そろえたほうがいいのかなとは思っています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

書式も含めて、全員そろえる、統一するという方向で全員分載せたいというのが、この委員会の総意ということで、全協に諮るといふことにさせていただきますけど、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

最初に戻りますけど、トップページの部分でのボタンですよ。いろいろな意見が出ましたけれども、議長交際費というのは、なしにするということで、これはいいですよ。このところに関して、昔からなんですけど、議会の報告とか、ほかのボタンで変わりになるものはここはまだ決まっていないんですか。議長交際費を抜いた場合に、かわりに入れるもの。

○（平口朋彦君）

情報開示。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

まだ、さっきの話が多分まとまっていないので。

○事務局書記（北原大輔君）

そこに報酬なんかも組み込むかどうか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ここがどうなるかという。

どれがいいかというのを決めたい。大変難しいですけど。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

一点、さっき一つご意見の中で、他市の議員報酬を載せればどうかというようなご意見もあつたんですけど、正直言って、そこは難しいかなというふうに思います。

例えば、全国市議会議長会のページにリンクを張るとか、そういったことであれば。それで、全国市議会議長のページに全国の議員報酬が載っているページがあつたりするならばいいんですけど、他市の議員報酬を載せるとなると、他市のそれぞれの議会のほうに、どうしてもやっぱり了解をとらないと、勝手に載せるわけにはいきませんので、とらないとならないというところがありますので、そこはちょっと現実的に、なかなか厳しいかなというふうには思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

当然リンクですよ。さっき言ったように。一件、一件は無理だと思うので。ただ、そのリンクで抽出できるところがあるのであれば、静岡県だったら県で抽出できるのであれば、その抽出したページをリンクで張ればいいと思う。リンクで張らないまでも、市議会議長会HPよりとって書くだけでもいいと思うし。

情報開示、そこはどうですか。ボタンの名前は情報開示でいいのかな。データ集。市議会データ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

やりたいことは大体わかるんですけど、名前がなかなか。ここに関しては、後でまた、こっちで相談という形でいいですかね、事務局のほうと。ここから進まなくなってしまうので。

では、情報としてはデータのものを載せたいということだったので。議長交際費のところは削除して、今言ったように、情報開示などの名称を相談します。

あと、これは議会のホームページとは、直接関係ないことなんですけど、牧之原市のホームページをリニューアルしたじゃないですか。市内の中のいろいろな団体がイベントを行うじゃないですか。それを一つに集約したカレンダーをつくったほうがいいかなと。そういったのって、イベントカレンダーみたいなものを確認できるような形になっているという、そういったものをまとめてもらうというのは、させてもらったほうが、市のホームページのトップにくるように。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

そこに関しましては、市のほうのお話になるので、僕のほうも聞いている範囲でのお話になりますけれども、イベントカレンダーにつきましては、新しいホームページにも導入をされる予定でおります。それは、各課がカレンダーのほうに記事を書いていく形になりますので、そういったカレンダーは、新しいホームページにもできるんですけども、各種団体がどういう経緯で、そういう開催に至るかというのが、今の流れでわからないのであれなんですけど、どこかの課を

とおしたりしていれば、その課に言ってもらえれば、その課が入力をするということは、当然で
きると思いますので、任意団体の上にある所管課といいますか、市の行政の担当部署に言ってもら
えれば、イベントカレンダーのほうに載せることは可能じゃないかと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

市のホームページをつくっているんで、いろいろなところで今イベントをやるというのが被っ
ちゃって、人が集まらないので、そういうのを市のほうで統括してやってもらえないかなという
話があったのでね。今度、例えばそこには誰でも書けるわけじゃなくて、登録している任意団
体とかの代表が勝手にできる形に許可を与えておけばね、そういうのだったら自分たちででき
るとどうかなと。いずれにしても、経験がないのでね。

○事務局書記（北原大輔君）

わかりました。担当課に。できるかどうかはわからないんですけど、聞くことはできますので。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

ちょっと毛色の違う話なんですけど、同じことで申しわけないんですけど、私のところにもそ
ういう声があって、地頭方海浜公園のあそのポケットビーチのところで、スマイルサップの大
会をやっていて、あそこは結構人が来るんですよ。百何人から来て。あれも、もう半年前ぐら
いから、もっと前ぐらいから準備をしています。とあるイベントがやっぱり半年以上かけて準備
をして、直前になるとチラシとかポスターが出てきて、全く同じ日で、何で同じ海のことをやる
のに同じ日かよとって、もっと早くにわかっていれば日にちをずらすのにといい思いがあるん
ですよ。でも、半年前からもうやっているんで、どっちもずらせないというふうになるくらい
だったら、今みたいに自由に書き込みができて、前もって予定を入れられるようなページがつく
れるのであれば、ホームページ上で。いちいち電話して、何月何日半年後にやるつもりなんです
と言っても所管課もそこまで気にしていないというところが多分あると思うので、そういうのが
あるといいなと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

ホームページの管理に関しては、情報交流課が所管でやっています、実はホームページって、
例えば私のほうも市議会のことに関して、いろいろ記事を書いたりだとか、例えば今回の11月定
例会のお知らせ等も書いているんですけども、必ず所管課、要は情報交流課の承認というのが
必要になります。ですので、勝手にこっちで記事をつくって、勝手に上げるということではでき
ないというふうに、それは市のほうの決まりの中でそういうふうになっておりますので、今のお話
を聞く範囲において、恐らくそれぞれの任意団体が、入力を自分たちですするというのは少し厳し
いかなと。それは、私たちが勝手に入力して勝手に公開ということではできないものですから、や

っぱりどうしてもそれはセキュリティの話とか、そういった問題がつくものですから、それは厳しいかなというふうに。ただ、それが例えば、わからないんですけど、情報交流課が窓口になって情報交流課に電話を1本すれば載せてもらえるとか、先ほど言ったように、担当課に言って、担当課から上げれば載せてもらえるとか、そういったことはもしかしたら可能になるかもしれませんが、それは聞くことはできるんですけど、任意の団体それぞれが入力というのは厳しいかなというふうに思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでいうと、例えば情報交流課が窓口になって、書式をつくって、メールでもファクスでもいいんだけど、そんな形をつくって、一本化する。何か市のホームページにバナーなどを作って行事を入れたい人はそこから依頼する。そんな形になるのかな。

○事務局書記（北原大輔君）

伝えておきます。いいとも悪いとも言えないものですから、伝えておきます。そういった話があったよということは担当課に伝えておきます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

原口委員。

○（原口康之君）

今の地頭方の件なんですけど、その場合、この前もちょっとお話ししたんですけど、大会があることを皆さんに周知する力というか、まだ市民団体で立ち上げたばかりの団体なので、そこまでの時間がないものですから、今、なので、いろいろな団体、地頭方の地区協会とか、それぞれ情報交流課とか、ああいうところに載せるようにしてくださいということはこの前お話ししたんですけどね。そういう感じでやっていければ、その団体自体もあれするんじゃないかなと。

ちょっと余分な話ですみません。

○（平口朋彦君）

せっかく、ホームページ、きょうは市議会ホームページの話なんですけど、もう近々にできてしまうので、ここで出た話題というのも向こう側に投げてもらって、できるだけ、大きな仕様変更になってしまうようだったら後からえらいお金がかかっちゃうので、できるだけ向こうに投げられるものは投げたほうがいいかなと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

多分、今も例えば最近ですと、青年会議所が主催した花火大会のことなんかも市のホームページで意外とお知らせしたりだとか、フェイスブックでもお知らせしたりとかいうのがされているので、できないことは多分ないかなと思います。としか言えないんですけど、思いますので、ただあとは、そういう窓口を一本化するとか、そういったところはどうなっているかというのは、少しわかりませんので、その辺の話は、そういった話はあったよということは担当課には伝えさ

せてもらいます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

先ほどの話であれなんですけれども、基本的にトップページのところのデザインとかメニューとかいうのは、事務局から提案してもらったものの形でいくということで、よろしいですか。

平口委員。

○（平口朋彦君）

藤野委員が言っていた、議会活動を上のほうにするというのは、どうするか。

請願・陳情も大事なんですよね。請願権なんて言えば憲法で保障されている権利なので、上のほうにおいておきたいという気持ちもすごいわかるんですよね。でも、それはやっぱり議会活動も大事だといえ、議会活動も上のほうにほしいって、上のほうにする。順番、結構デリケートだね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

そうしたら、導線、見る場合なんですけれども、自分もホームページを見たりするとZ型それが結構多いので、見てもらいたいものを上に持っていく。こういう順場でなかなか見ないものですからね、そういう流れのレイアウト……。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

さっき分けた、トップページですね。この順番にこれは1から順に並んでいるものですから、今これが議員活動報告という、3段目の左側に配置をされているんですけど、これをもうちょっと、2段目の右側の議会改革と入れかえるのか、それ以上に持ってくるかどうかちょっとわからないんですけど、そういった配置になるかなと思いますので、こっちはちょっと参考にしてもらえればと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

順番に、それでは確認していきましょうか。今、左側の上のところで、議員情報があって、本会議の情報が1番なんですけれども。

平口委員。

○（平口朋彦君）

スマホで見るとこれ、一列なんだよね、恐らく。スマホ用にホームページがリデザインされるので、一列になるので、順番は、議員情報、本会議情報。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

縦に並ぶなら、この①、②、③、④の順番になると思います。

○事務局長（植田 勝君）

議員情報って一番上にほしいですかね。

○（平口朋彦君）

そこって、一遍見たらもう二度と見ないところでもあるんだよね。

○事務局書記（北原大輔君）

正直迷いました。組むに。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

それでもさっき言ったように、この議員情報のほうから入り口になって、票を投じた議員の活動を全部見たいというふうに見えるんだったらここでいいのかなと思ったんですよ、正直な話ね。そうすれば、一番使いやすいのが一番上にくるといって。ただ、本当に固定したページで情報等しか見られないんだったら、別に番手は下のほうでもいいのかなとは思う。その辺は。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

最初の本会議情報のところに。

○（平口朋彦君）

だったら、本会議情報か活動報告かどっちかですよ。上に来るんだったら。でも、請願はやっぱり上のほうがいいなど。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

正直、自分も区分に迷ったんですけれども、議員情報を、もし下でもいいというのであれば、一般的にはやっぱり本会議が一番上ですかね。やっぱり一番の議員さんたちのところなので、本会議情報が一番かなと思いますけど。請願が次にきて、その次あたりに活動報告とかですね。後ろでもいいよというのであれば、この議員情報というのは、市議会の仕組みの後ろあたりでもいいかなと。そのぐらいまで後ろに持っていても、正直いいかなと。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

視察の前。

○（平口朋彦君）

一番下。

でも、仕組みの上ぐらいは妥当なところかなと。

ここは名前が変わって入る。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

議会情報が一番、2番が請願、3番が議会活動報告で、4番はどうしますか。議会改革。5番が議会の仕組み。どっちか。

1番が本会議、2番が請願、3番が議会活動、4番が議会改革、市議会のあらましと仕組みがある。議会の仕組みを載せるか、年間行事予定を載せるか、5番をね。

○（平口朋彦君）

後ろでいい。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

仕組みを、じゃあ5番にしよう。6番が年間行事。

○事務局書記（北原大輔君）

6番でいいんじゃないですか、議員情報。年間行事予定より後ろに行っちゃうと。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

議員情報を6番。年間行事を7にする。8番がさっき言った情報開示。9番が視察……。こんな感じでいいですか。

別に一個あいているところに、ここに入れてもいいんだけど。下のところ。……。。

平口委員。

○（平口朋彦君）

これ、お問い合わせボタンをつくらないのは、わざとだよ。答えられないもんね、お問い合わせなんてつくっても。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

正直、考えました、最初。お問い合わせフォームみたいなものを、他市なんか入っているところもありますので、考えて、バナーか何かで最初入れようかなとも考えたんですけども、下に牧之原市議会というふうなあれがあるので、いいかなというのと、うちの市の場合は、お問い合わせフォームって、今もあるんですけど、問い合わせというのは、情報交流課に全て市のお問い合わせというのがあるって、情報交流課から各課に割り振られるというような仕組みというか、なっているものですから、たとえここへもしお問い合わせフォームをつくっても、お問い合わせ先は、恐らく情報交流課のほうになると思います。議会事務局じゃなくて。それは市のやり方としてですね、情報交流として、市政にあったお問い合わせというのを一括管理しているというふうになっているものですから。

なので、当局宛のお問い合わせフォームになってしまうので外したということです。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

どうしても、市民皆さん、いろいろな考え方をお持ちの中で、議会って、言ってみれば本当に政治の方向性を決めるところで、それは上もいれば下もいる、右もいれば左もいるという中で、ここのお問い合わせにいろいろな問い合わせを寄せていただいても、答えるだけの人がいない。事務局が対応できないし、じゃあここで答えをつくってくださいと言われても、ここだけでつくれないからね。ここでつくったものを、いちいち全協でこの答えでいいですかとって諮らない

といけない。もちろん、次の本会議はいつですかぐらいの情報の問い合わせだったら、幾らでも事務局のほうで答えてもらえるんだろけど、リニアに関して、牧之原市はどこまで反対する気ですかと言ったら、いちいち諮らないといけないですからね。そんなことやってられないので、あえてなしでもいいのかな。ただ、情報交流課を通じてまで聞きたいというのには、答えていかないと、しょうがないのかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

現状でも、実は今週ぐらいに問い合わせというのがあったんですけども、年に数件というのは、問い合わせというのは市民の方からいただきます。今のところは、正直事務局で回答が困るような問い合わせというのはありませんので、事務局として議長にも許可を得ながら回答をしているというのが現状としてありますので、ここに問い合わせフォームがないからといって、全く問い合わせがなくなってしまうかと言われれば、そういったことでもありませんので、そこは何かあれば問い合わせをとというふうには、なると思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それは電話で問い合わせる。

○事務局書記（北原大輔君）

メールです。なので、先ほどお話ししたとおり、1回情報交流課のほうにメールが入って、情報交流課のほうから議会に関する問い合わせですとこちらに送られてくる。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

市のほうに届くと。

○事務局書記（北原大輔君）

今のホームページが直接こっちに、実は議会の事務局のメールアドレスは今のホームページには載っていないで、ホームページ上に載っているものって、市に対するものだけなんです。なので、必ず市のほうに問い合わせがいて、そこからこっちに来るというような流れになっています。たまに、当然電話で、いつ、それこそ一般質問のとき多いんですけど、何時から始まるのとか、誰々議員は何時からですかという問い合わせは、それはそれで当然あって、それはお答えはさせていただきますけど、メールであるようなものについては、そういったような対応でとらせてもらっています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ほか、ありませんか。皆さん。

原口委員。

○（原口康之君）

今の件ですけれども、例えばそういった意見が出て、すぐには答えられないようなものに関しては、議会報告会のほうで答えるということはやっているんですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

現状、そういった問い合わせというのはないものですから、どうしているというのものないんですけれども、考えられるのは、やはりまず議長に相談した中で、それを対応として、こういったお問い合わせかにもよるんですけれど、議会運営委員会の対応になるのか、所管の委員会みたいな対応になるのか、もしかしたら広報委員会の対応になるのかというのは、そこは議長とまた相談させてもらった中で、もしかしたらその中で議会報告会というような話もあるかもしれませんが、ちょっとそれはケース・バイ・ケースで、きてみたいと何とも言えないかなというふうに、お問い合わせの内容によってですね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

その他何かございますか。

前回やった資料でもいいんですけど、特に不安な点があれば。

特にはないですか。なければ。

○事務局書記（北原大輔君）

今回、いろいろ協議いただいて、直すところは直して、リニューアル後のホームページにしていくつもりなんですけれども、私からお願いしたいのは、ぜひ議員の皆さんもホームページを見ていただいて、現状のホームページでどうなっているかとか、ここが見にくいんじゃないかというの、やはりどうしても編集している自分の身からすると、よかれと思ってやっていることであっても、やっぱりどうしても一般の方から見たりとか、議員さんの立場から見ると違ったりとか、このくくりってどうなのという話もあると思いますので、今回リニューアル、来年1月の中旬ぐらいですかね、リニューアルするんですけれども、またそういった中で変更していくことは可能でありますので、広報委員さんでホームページは所管になっていきますので、ぜひまたホームページを見ていただいて、見にくい点等あれば、ご意見をいただければなというふうに、それは通るかどうかはちょっと別として、いっぱい意見はもらいたいなというのはありますので、お願いをしたいというふうに思います。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今回も出ましたけれども、文字が多いページは楽しくないですから、写真とかイラストを入れてもらって。特に、PDFにして例えば委員会がやっている風景だとか、そういった写真を入れてもらうというのも、また見やすくなったりするので。ちょっと工夫をしていただければと思います。

○事務局書記（北原大輔君）

さっき市議会のあらましのところを少し見直させてもらいたいというようなお話もさせていただきましたんですけど、今回、せっかくホームページをリニューアルいたしますので、市議会として単

独というわけではないんですけど、独立したような格好のホームページになってきますので、少しもう一回内容を自分のほうで見させてもらって、より市民の方に見ていただけるようなものにしていきたいなというふうには思っていますので、それはまた。ただ、それがリニューアル直後に間に合うかどうかは少しちょっと、リニューアルしてから生じてくる問題等もあると思いますので、徐々に改善していきたいなというふうに考えていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

基本的なことを聞くのを忘れていたんですけど、URLは。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

すみません、まだわからないです。

○（平口朋彦君）

そのURLが牧之原市ホームページの下位層みたいな、ディレクトリがその下のようなURLになるのは、ちょっとあれだよ。納得いかないというか、別のURLでつけてほしいなと思ひし、あともう一つこれ、あれなんですけど、ホームページのページを牧之原市議会ホームページにしちゃっていいの。ペットネームをつけなくていいの。例えば、議会だよりはかけはしでペットネームがあるわけですよ。だから、牧之原市議会も、この牧之原市議会というホームページの前に、例えばようこそ牧之原市議会というふうにつけたりとか、皆さんの牧之原市議会とか、そういうふうな感じで、ページの名前を牧之原市議会ホームページにしてしまうのか、いきまっせ牧之原市議会とか、そういうふうに名前をつけるんだしたら今つけないと無理だよ。

あと、チャーフィンもどこに使うのかとかね。一応、市議会マスコットなので、チャーフィンをどういうところに使うのかというのもそうです。

だから、もっと言えば、掘って行って、黒丸になっているところがあるわけじゃないですか。こだわれば、この黒丸のところを全部チャーフィンのモチーフにしちゃってもいいわけですよ。見出しの前に必ずチャーフィンがいるとか、そういうふうなデザインもできるわけですよ。

牧之原市議会の前にも、さっき言ったように、茶の都牧之原市議会というふうに勝手につけちゃってもいいわけじゃないですか。

質実剛健で、牧之原市議会のホームページだけでもいいですよ。ただ、前まで牧之原市議会議会だよりというだけだったのが、今回、広報の皆さんでより身近に感じてもらおうと行って、かけはしという名前までつけてくださったわけじゃないですか。だったら、ウェブ版かけはしにしてもいいし、そういうことも考えるんだしたら、今なのかなと、ふと思ひてしまったんですけど、後でもできるんだしたら、別に後にしてしまってもいいんだけど。その辺、どうですかね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

後でもできることはできると思います。ただ、リニューアルにあわせてやるかどうかの話ですので、後でもやれることはやれると思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

若干、かけはしの名前をつけるときに、かなり時間を要してすったもんだして、時間がかかったものですからね。もし、例えばやるんだったら、かけはしという名前をホームページにつける、それだったら異論がないかなと。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

もし、名前をつけるというのであれば、かけはしのときもそうだったんですけど、つけてすぐで、来年また変えるとか、つけてすぐ誰かに反対されて変えるとか、そういったことはあってはならないと思って、つけるならもう、半永久的にその名前で、議会だよりもかけはしで今後何年かの間はいくと思いますけれども、そのぐらいのものをつけていただきたいと思うので、それこそかけはしのときも、いろいろ、じゃあ市民から募集しようとか、いろいろ考えた中でかけはしというふうになったものですから、ぜひそれはまた考えていただく中で、今すぐにじゃなくて、今ここでぽっと出たものじゃなくてもいいものですから、考えていただいて、半永久的に使っていきけるようなネームといいますか、ものをつけてもらえればなど。それはやはり、議会のものになるので、全員にも諮る必要があるかなと思いますので、またおいおい、考えていっていただければというふうに思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

名前に関しては、別に時間を設けてやっていかないとしますので、次回以降の検討事項ということにしたいと思います。

ほかはいかがでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、長時間になりましたけれども、以上で本日の議会広報特別委員会を終了したいと思います。

どうもお疲れさまでした。

〔午後 14時35分 閉会〕